



朝風

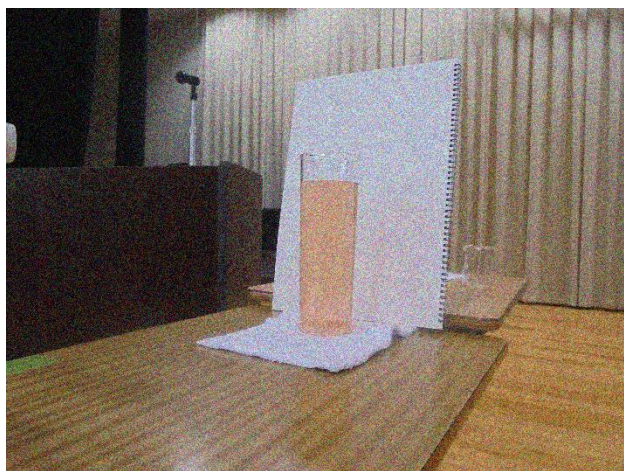
上田市立塩田中学校

No.2

〈めざす人間像〉ふるさとに愛着と誇りをもち、知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間

先日は授業参観、学年学級PTA等へのご参加、ありがとうございました。

～ 前期人権同和教育月間 校長講話でスタート ～



200ccの水に一滴の朱墨を落とし、その後200ccの水を4回入れ続けて朱に染まったままの1000ccの水を見て何を思うか。校長先生は全校生徒に問いかけると、3人の生徒が全校を前にして自分の考えを発表してくれました。

校長先生は一滴の朱墨を1人の人と例え、1000ccに水が増えてもその朱色が鮮やかに残っていることを、「1人の存在の大きさを感じる」と話されました。そして、自信を持って自分の存在を誇り、他の存在も大切にしてほしいとも話されました。

5月は人権同和教育月間。この学習を通していろいろな仲間の意見に耳を傾けて自分の見方や考え方を深め、考えたことを実践につなげていきましょう。そうすることで、日頃校長先生が言われる、「塩田中が、この地域が、誰にとっても安心して生活できる場所」になるといいですね。



校長先生のお話を聞いて（生徒の感想から）

- ぼくはあの水は何をしても消えることのない人権だと思いました。これからはこの話を意識して、より人権を尊重して生活したいと思いました。人権はこの前聞いたLGBTQの話にもつながっていると思いました。
- 水と朱墨が何を表しているのかを近くの人たちと話し合っ、自分の意見を伝えることができたのでよかったです。自分の意見と違ったけど、「なるほど!」と思うことができました。授業の時だけ、人権のことを考えたり、話したりするのではなく、これからは日常生活の中で“人権”について考えていきたいです。
- 一人一人の人間を尊重すべきだと思った。オレンジ色に水が染まっていくのを見たとき、一人の人間にどのくらい価値があるのかが分かった。お互い協力することで素晴らしいものができあがっていくと思う。どんな人でも人権があって、からかったり、いじめたりできる人は1人もいないと思う。ふだんから人権について考えながら行動したいと思った。

部活動参観へのご来校もありがとうございました

